城里町奨学生を募集します!

を含む)、高等専門学校または大学における修学が困難な方 りながら経済的な理由により高等学校(養護学校高等部等 方は左記のとおりお申し込みください。 に学資を貸与しています。平成21年度奨学生に応募される 町では、 人材を育成することを目的に、優秀な生徒であ

出願資格 次の①~⑤の要件をすべて満たす方

資金の貸与を受けていない(国やその他団体か 優良である ④学資の支弁が困難である ⑤奨学 の本拠を有する ②健康状態が良好で、 ①町内に1年以上居住し、引き続き事実上生活 は城里町奨学生になれません) らの奨学金を受け、または受ける予定のある方 十分耐えうると認められる ③人物・学業とも 修学に

採用予定人数 3人

貸与月額 高校生・高等専門学生/3万円以内

大学生/5万円以内

貸与期間 平成21年4月から在学する学校の正規の修業期 間まで

奨学資金の返還 無利子で貸与終了月の6か月据え置き後、

出願手続 教育委員会事務局より出願書類を受領し、 生願書に必要事項を記入のうえ、必要関係書類 10年以内に返還

出願書類 ①奨学生願書 (出願希望者作成) ②誓約書 (〃) を添付して提出してください。

③奨学生推薦調書 (中学校、高等学校で作成) ④住民票謄本(世帯員全員のもの)⑤所得証明

書(世帯の生計を支えるもの1人)

申込期限

4月17日金

文芸しるさと

句



長鳴きの雉の旋回霜強し 寒林の奥の明るさ何か棲む 田 勇

強き風パンジー揺らし吹き抜けし 川幅は昔と同じいぬふぐり 置き去りし梅の盆栽咲きにけり 高橋芦江 田まちを

薄氷の模様日に解けはじめけり 南天が目茶苦茶に揺れ客来たる 村愛子 渕 寿美恵

ほころびの多き春服母ゆづり 戻り来て柊の花たしかめし いそべきよ ż

蚕豆の霜除けの藁子守歌 蕎麦処水仏の香に賑はへり 待合室の読みかけ絵本梅咲けり 竹內幸 村昭 子 子

堂堂と咲いて美し寒菫 覚悟とは揺れ動くもの冬の月 瀬 多代美 野 千賀子

ぞっくりと木蓮蕾風光る 父子三代どんどの煙胸に当て 谷博 下金 司 子

岸壁で海を見守る六角堂 楪や重そうな葉はまだ赤木



会心静めて舞台に坐せり 各流派集へて御詠歌の発表

定に二カ寺を加ふる巡拝

伐る夫のチェーンソーの響る師走なか深閑とせる山中に木を 美恵子

夕ぐれて介護施設の窓辺み を拝む日本一の山によき年を願ふ いでゆにてまた食事をしつつ富士 青柳京 子

回復の義姉米寿にて三味線 も習ひ始める元気な日々ぞ 愛子

如月の空に梅花笑み初むオバマ次期世界を躍動するお方 草倍に株立ち春待ちており昨年の春露地に下した福寿 阿良山 ウメノ

子

年も皆の健康祈る節分の夫の豆まり (分の夫の豆まく福は内今

短 歌



やわらかに冬陽の中に群れて咲 や 子

寺々の距離間近し十七カ寺の予 山みちこ

虫を潰せば秋の風沁む わが生活潤す小さな菜園の 深めて流す歌声に拍手一泊の湯宿に心の温もりを 宮本ふみ江

な温かき色に灯の点りたり 辺 千紗子

観梅に行きて買いにし雪割草夫 との思い出早や芽を出しぬ

て我れ細々と寒中に生きる毎日の食事出来るを感謝し

霜の朝北風寒き古里を今い

雪ありしとう「寒」戻りしか かにぞと友のなつかし 暖冬と思いしに突如筑波嶺に初

梅の蕾もふくらみ初めぬ 初春のひかり暖かき庭に立つ老 片 見 和

山並みを朱金の濃淡に染めにつ つ沈まむとする「寒」の夕陽 上 千代子

道ならむスーパーめざす 遮断機のなき踏切を渡り来て近

座に妙なる親しみ覚ゆ小寒の夜空に光る満天の星

我のみの宛て名の賀状遠くはな れ住める友より久々に届く 多

お年玉ひとつづつ渡しやる孫達に夫の手から与えむと 谷 登喜子 井 きよ子

て小鳥さざめき一日春めく 佐智子

庭木々によべの雫が光りる

]1]



スーダラ節地で生きたいよこの時世 田多蔵

御前山水なし皇都橋渡る カウンターへだててもらうやさしさを 井

カーナビが黙りこんでる田 中 島 芳 舎道

す